

国際交流

テキサス大学ヒューストン校歯学部・学生交流プログラム

本釜 聖子

3月29日から4月2日まで(学生は4月6日まで)、三宅教授、宮本教授、5年生4人とテキサス大学ヒューストン校歯学部に行って来ました。関西国際空港を発つ時、学生の1人がパスポートを徳島のコンビニに忘れて来るというアクシデントがありました。出発日の朝、コンビニにてパスポートのコピーを取ろうとして、コピーだけを持ってきて、パスポートをコピー機の中に忘れてきていました。しかし、徳島にいらっしゃった先生方、

旅行会社の担当者、パスポートを関空まで届けてくれた学生達の協力のもと、なんとか無事全員テキサスに行くことができました。

昨年のセミナーは、ミニインプラントコースで、シミュレーションセンターにて講義・実習を受けましたが、今年は、bone regeneration 講義・実習(図2, 3)を Dr. Amy Ridall に、補綴講義・実習(メタルボンドのコンタクト調整、色合わせ、焼成)を Dr. Maria Gonzalez



図1 宮本先生
テキサス大学ヒューストン校口腔外科レジデントと



図2 骨再生実習1
Dr. Ridall から骨再生実習の講義と器具の説明



図3 骨再生実習2
使用した模型



図4 食事風景1
昨年度日本に来ていた Alicia, Nancy と Dr. Gonzalez と一緒に食事会

にさせていただきました。徳島大学では、骨再生やメタルボンドの実習は行っていないため、学生達は興味深く実習を受けていました。また、病院、研究室、診療室で日本との臨床実習の違いを見て、実際に介助もさせていただきました（図6）。学生は、講義・実習・見学を通し、積極的に学習することができ、国際感覚の育成ができました。さらに、宮本教授は、私たちが補綴実習をしている間、口腔外科部門を見学され、貴重な体験をされたようです（図1）。

実習終了後の食事時、昨年の学生交流プログラムでテキサス大学から徳島に来ていた学生の Alicia と Nancy にも会え（図4）、今年から研修医として働き始める2人と、アメリカと日本での就職の違いについて話しました。

欧米の協定校であるテキサス大学ヒューストン校歯学部との exchange program により、学生も教員も有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、このような機会を与えてくださり、コーディネートしてくださった、三宅教授、宮本教授、Dr. Amy Ridall に深謝いたします。



図5 食事風景2
予定の1日遅れで全員揃ったところで食事



図6 診療室見学
ガウンを着て、診療室の見学・介助